

第 16 期 (平成 16 年度)

東京都港区西新橋二丁目15番12号  
日立キャピタルオートリース株式会社  
代表取締役社長 杉本 信雄

1. 貸借対照表(平成17年3月31日現在)

(単位 千円:未満切捨て)

勘定科目	金額	勘定科目	金額
<b>【資産の部】</b>		<b>【負債の部】</b>	
<b>流動資産</b>	<b>77,475,278</b>	<b>流動負債</b>	<b>132,937,419</b>
現金及び預金	2,635,591	支払手形	132,155
受取手形	-	買掛金	38,724,213
売掛金	33,696,233	短期借入金	30,000,000
未収リース	2,510,845	短期債権譲渡債務	6,866,400
前払費用	3,258,855	一年内に返済予定の長期債権譲渡債務	3,409,800
未収入金	32,667,349	未払金	41,004,091
繰延税金資産	4,147,266	未払法人税等	594,324
その他流動資産	59,135	未払費用	4,965,196
貸倒引当金	1,500,000	前受金	3,763,250
		預り金	207,987
<b>固定資産</b>	<b>82,297,581</b>	ローン保証引当金	3,270,000
<b>有形固定資産</b>	<b>76,132,549</b>	<b>固定負債</b>	<b>18,414,676</b>
貸与資産	76,100,753	長期借入金	2,000,000
建物	24,734	長期債権譲渡債務	15,281,359
車輛運搬具	674	退職給付引当金	981,691
器具備品	6,387	役員退職慰労引当金	22,930
<b>無形固定資産</b>	<b>93,186</b>	受入保証金	128,695
ソフトウェア	93,185	<b>負債合計</b>	<b>151,352,096</b>
電話加入権	0	<b>【資本の部】</b>	
<b>投資その他の資産</b>	<b>6,071,845</b>	<b>資本金</b>	<b>300,000</b>
投資有価証券	123,900	<b>資本剰余金</b>	<b>5,345,116</b>
出資金	20	資本準備金	5,345,116
長期貸付金	12,166	<b>利益剰余金</b>	<b>2,716,750</b>
長期前払費用	5,068,324	利益準備金	25,000
預託金	116,134	任意積立金	1,800,000
差入敷金保証金	132,550	別途積立金	1,800,000
繰延税金資産	125,103	当期末処分利益	891,750
その他	493,646	<b>株式等評価差額金</b>	<b>58,896</b>
		<b>自己株式</b>	<b>-</b>
<b>資産合計</b>	<b>159,772,859</b>	<b>資本合計</b>	<b>8,420,763</b>
		<b>負債・資本合計</b>	<b>159,772,859</b>

- (注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 53,383,869 千円  
 なお、貸与資産の取得価額から国庫補助金による圧縮記帳額 59,684千円が控除  
 されております。  
 当年度における国庫補助金による圧縮記帳額は、21,955千円であります。
2. 貸与資産の一部については、割賦払いの方法で購入しているため所有権が売主に留保  
 されており、その代金未払額は32,604,877千円であります。
3. 親会社に対する短期金銭債権 32,184,110 千円
4. 親会社に対する短期金銭債務 72,401,335 千円
5. 保証債務 340,417,148 千円
6. 商法施行規則第124条第3号に規定する時価を付したことにより増加した貸借対照表上の  
 純資産額は58,896千円であります。

2. 損益計算書(自平成16年4月1日 至 平成17年3月31日) (単位 千円:未滿切捨て)

勘 定 科 目	金	額
( 経 常 損 益 の 部 )		
営 業 損 益 の 部		
売 上 高		
リ ー ス 売 上 高	35,842,225	
ロ ー ン 売 上 高	7,986,583	
そ の 他 売 上 高	1,618,416	45,447,225
売 上 原 価		
リ ー ス 売 上 原 価	31,872,468	
ロ ー ン 売 上 原 価	1,316,402	
そ の 他 売 上 原 価	758,871	
資 金 原 価	398,986	34,346,729
売 上 総 利 益		11,100,496
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		9,621,880
営 業 利 益		1,478,615
( 営 業 外 損 益 の 部 )		
営 業 外 収 益		
受 取 利 息 ・ 配 当 金	601	
雑 収 益	96,458	97,059
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	6,136	
雑 損 失	187,989	194,125
経 常 利 益		1,381,549
( 特 別 損 益 の 部 )		
特 別 利 益		-
特 別 損 失		-
税 引 前 当 期 純 利 益		1,381,549
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税		1,859,250
法 人 税 等 調 整 額		1,247,204
当 期 純 利 益		769,502
前 期 繰 越 利 益		190,647
中 間 配 当 額		68,400
当 期 未 処 分 利 益		891,750

- (注) 1. 親会社に対する売上高 1,073,144 千円  
2. 親会社からの仕入高 550,491 千円  
3. 親会社とのその他の営業取引高 882,906 千円  
4. 親会社との営業取引以外の取引高 1,787 千円  
5. 1株当たり当期純利益 125,750円48 銭

(重要な会計方針)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

その他の有価証券

時価のあるもの…決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部資本直入法)によっております。

時価のないもの…移動平均法による原価法によっております。

2. 有形固定資産の減価償却の方法は、貸与資産についてはリース期間を耐用年数とする定額法、その他の有形固定資産は定率法によっております。

なお、貸与資産の処分損失に備えるため減価償却費を追加計上しており、当期末残高は366,397千円であります。

3. 無形固定資産の減価償却の方法は、定額法によっております。なお、ソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。

4. 貸倒引当金は、営業債権を個々の回収実績に応じて、正常先債権、要注意先債権、破綻懸念先債権、実質破綻先債権、破綻先債権の5区分に分類し、それぞれ次のとおり回収不能見込額を計上しております。

正常先債権…過去の貸倒実績率を適用して算出した回収不能見込額に、回収期間等事業特性を考慮した額を計上しております。

要注意先債権…各債権の状況に応じてその10%~50%を計上しております。

破綻懸念先債権…その全額を計上しております。

実質破綻先債権および破綻先債権…その全額を貸倒損失として費用処理しておりますので、貸倒引当金としての計上はありません。

5. ローン保証引当金は、ローン保証債務に対し貸倒引当金と同等の基準で回収不能見込額を計上しております。

6. 退職給付引当金は、従業員の退職金支給に備えるため、当該事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上しております。

7. 役員の退職慰労引当金については、内規に基づきその全額を計上しております。

なお、当該引当金は商法施行規則第43条に規定する引当金であります。

8. リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

9. 消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

10. 収益及び費用の計上基準は、リースは期間経過基準、提携ローン販売は販売基準によっております。

(表示方法の変更)

前期において売上高および売上原価の「その他」に含めておりました「ローン売上高」および「ローン売上原価」は、日立キャピタル株式会社より自動車ファイナンス事業を承継したことにより、金額の重要性が増加したため当期より区分掲記しております。なお、前期の「その他」に含めておりました「ローン売上高」は347,411千円、「ローン売上原価」は22,383千円であります。

(追加情報)

(自動車ファイナンス事業の承継)

平成16年4月1日を分割期日として、全国に展開していたオート支店の営業エリアを対象とする自動車ファイナンス事業を、当社の親会社である日立キャピタル株式会社より分割承継いたしました。

また、平成16年8月1日および平成17年2月1日を譲渡期日として、同事業に係る資産、負債および保証債務を承継いたしました。

承継した資産、負債、保証債務の合計額は、以下の通りであります。

資 産	54,540,611 千円
負 債	36,701,685 千円
保証債務	568,889,413 千円